

# すくすくきざきっこ

おうちの人と一緒に読みましょう。

令和8年3月号

木崎小学校 保健室



助産師の田川智美さん  
ニックネームはTAG

令和8年2月27日（金）の2時間目のに、  
助産師さんによる、6年生への授業がありました。

題目 「大切なあなたへ」  
講師 助産師 田川 智美 さん

みなさんは、助産師さんがどんなお仕事をして  
いるか知っていますか？

助産師とは、「赤ちゃんを産むときのお手伝いだ  
けではなく、「性の専門家」でもあり、人の一生を

通して、心と体を守る仕事です。」と田川さんが教えてくれました。

助産師の田川さんが、どのような思いで授業をしているか、お話をしてくれました。

田川智美さん（TAG）の思い

生まれてきてくれただけで、助産師の私は何度も幸せをもらった。

この手で受け止めた赤ちゃんが、この先も幸せに生きていってほしいと願った。

自分らしく自分で選んだ道を生きていってほしい。

失敗していい。自分で選んでいい。誰かに頼っていい。



木崎小学校では、6年生からの性や、心と体に関する質問についても、田川さんがわかりやすく  
授業で教えてくれました。授業を受けた6年生や参観した保護者の方の感想の一部を紹介します。

## 児童

- 命の大切さについてよく知ることができました。
- 仲が良いからといって何でもしていいということではない、ということがわかりました。
- やっぱり女の子とか男の子とか関係なく、自分自身でやりたいことを決めたいと思います。
- 多様性の時代なので少しずつでも世の中の考え方が変わっていくといいなと思いました。そのため、小さなことでも相手の考えを尊重することを大切にしていきたいと思いました。

## 保護者

- 今どき男だから女だからなんて、と思いつつも、妻だから母だから女だから家事はなるべく全部自分がやらないといけないと思ってしまう、自分に気づくことができました。
- この内容は毎年6年生に聞かせてあげてほしいですし、ほかの学年の子どもたちにも機会があればいいなと思います。もっとたくさんのおやちいさんにも聞いてもらいたいなと思いました。
- 性教育は家庭でも積極的にやるべきだと思うのですが、私達のような親の世代は家庭で積極的に話してきていないので、どう伝えて良いのか正直わかりませんでした。こう伝えればいいんだと勉強になりました。



## ひと たいせつ 「その人らしさ」を大切にしよう

参考資料

たくさんの色 ふれ合おう。  
彩の国 埼玉県  
syougakuseiyou.pdf

今回の授業では、6年生からの質問には様々なものがありました。『「女らしさ」「男らしさ」って何ですか?』などの性に関する質問がとても多かったです。

みなさんは、「女の子なのに」「男の子だから」と言われて、なんだかモヤモヤした気持ちになったことはありませんか? モヤモヤしても大丈夫です。

性は、4つのものさしの組み合わせで考えることができます。

- ① こころの性 (自分が実感している性別)
- ② からだの性 (生まれたときの体の性別)
- ③ 好きになる性 (好きになる相手の性別、恋愛感情をもたない)
- ④ 表現する性 (自分が表現したい性別)



4つの性のものさしで示した位置は、人それぞれちがうので、性は人の数だけあり、色の境界線のない「グラデーション」や「レインボー」に例えられます。

大切なことは、「自分らしさ」「あなたがどんな自分でいたいか」です。自分の心が本当に「好き」と感じるもの、「やりたい」と思うことを選ぶということを大切にしてください。

あなたは、世界に一人だけの大切な存在です。そして、周りにも、同じように世界にたった一人の大切な存在です。

自分のことを大切にできると、「自分がされていやなことは相手にはしない」と相手のことも大切にできると思います。

4月から、6年生のみなさんは中学校へ、1~5年生のみなさんは一つ上の学年に進学します。「自分らしさ」を大切に、新しい毎日を楽しんでください。



参考資料

まるっと! 女性の健康教育 [まなブック | まるっと!](#)

新年度に向け、学年末に保健関係書類を配付します。新学年の欄への記入、記載済みの内容の確認、必要に応じて加除修正をお願いします。

特に、緊急連絡先に変更があった場合には、確実に修正をお願いします。

おねがい

